

事務事業評価報告書

事務事業評価報告書

施設名：山口市山口児童館

担当部 こども未来部

担当課 こども未来課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・児童(18歳未満) ・地域住民		地域の子どもの居場所として地域に根ざした活動を行いました。 <開館日> 日曜、祝日、年末年始を除く毎日 <利用時間> 9:00～22:00 ※職員常駐時間 9:30～17:00 <内容> ・児童講座の開催 ・児童向け各種クラブの実施 ・お年寄りとの交流活動の実施	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
児童が健全な遊びを通して情操が豊かになります。			
総合計画体系	政策	01 子育て・健康福祉	
	施策	01 子育て支援の充実と環境整備	
	基本事業	04 子どもたちの交流の場づくり	
事業開始背景等	全ての児童に健全な遊びを通してその健康を増進し、又は情操を豊かにする施設として設置しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☒ 貢献度大 ☐ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
	有効性	成果状況	年間延べ利用者数、講座回数ともにやや増加しています。今後も、児童が友達とのふれあいを深め、助け合う心や工夫する力を育むことのできる季節の行事、講座等の開催を通じて、児童の健全育成に努めます。
		☒ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化	
成果向上余地 ☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ なし			
効率性	類似事業との再編成		類似事業はありません。
	☐ 再編成できる(理由→) ☐ 再編成できない(理由→) ☒ 類似事業なし		
	コスト削減余地		
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切		児童の健全育成を目的とした事業であり、児童の安全確保や老朽化施設の維持補修等を行うためには、現状手段が適切です。
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
山口市山口児童館指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市山口児童館

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目					評価コメント					評価					評点
										不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設使用の申請受付及び許可に関する事務を適正に処理されている。				☆							3
		維持管理	・清掃、保守点検など維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	施設の清掃は、業者委託しており、施設敷地内の草刈りは適宜、職員が行う等、施設の維持管理を適正に行っている。備品についても適正に管理されている。				☆							3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	児童厚生員の資格を有する職員を適切に配置している。また、職員に対する研修機会を確保し、人材育成に努めている。								☆			4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	放課後児童クラブと連携し、講座を行うなど地域と連携した事業に取り組んでいる。				☆							3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する説明は適切に行っている。また、事故や苦情等に対応できる体制を整えている。				☆							3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。				☆							3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・利用者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童館ガイドラインや運営方針に基づいて運営しており、適切に対応している。				☆							3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報は、外部の人の目に触れないように適切に管理しており、廃棄する際は破砕機を使用する等、適切に行っている。				☆							3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内で事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。また児童遊園の日頃の安全管理にも努めている。				☆							3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	機械警備の設置及び緊急連絡網の作成等により危機管理体制を整えている。				☆							3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な、広報活動、情報提供等がなされたか。	児童館だよりを作成し、大殿小学校の全児童や関係団体に配布しているほか、市社協だより、市社協ホームページを活用するなど情報提供に積極的に取り組んでいる。								☆			4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取り組みがなされたか	親子を対象にする利用者のニーズに沿った講座や児童向け各種クラブの実施、多世代間との交流等、行事の開催に積極的な取り組みがされている。				☆							3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	科学遊びなどの特別講座、幼児や小学生を対象とした運動会やあきまつり、舞台芸術公演などの実施に取り組んでいる。				☆							3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	意見箱の設置や、講座後のアンケートにより適宜、利用者の意見要望を聴き管理運営に反映するよう努めている。				☆							3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合している。	計画に整合した事業内容、収支実績となっている。				☆							3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。				☆							3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。				☆							3

評点合計

標準

51

加算

2

53

審査結果	山口市山口児童館指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、職員向けの研修を実施し、職員の育成に力を入れている点が評価できる。					年度評価	A				
【各年度の評価】					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
					A	A	A	A			
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

事務事業評価報告書

施設名：山口市秋穂コミュニティセンター

担当部 こども未来部

担当課 こども未来課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
・児童(18歳未満) ・地域住民	地域の子どもの居場所として地域に根ざした活動を行いました。児童館内で運営する児童クラブとの連携や地域住民との交流の場となりました。 ＜開館日＞ 月曜日、祝日、年末年始を除く毎日 ＜開館時間＞ 9:00～18:00 ＜内容＞ ・児童講座、イベントの開催 ・3歳児親子クラブの開催 ・三世代交流活動の実施 ・子育て支援家庭及びそのグループの活動の場の提供
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
児童が健全な遊びを通して情操が豊かになります。	

総合計画体系	政策	01 子育て・健康福祉
	施策	01 子育て支援の充実と環境整備
	基本事業	04 子どもたちの交流の場づくり
事業開始背景等	全ての児童に健全な遊びを通してその健康を増進し、又は情操を豊かにする施設として設置しています。	

昨年度の実績評価

妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☒ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業	☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
有効性	成果状況	年間延べ利用者数、講座回数ともにやや増加しています。今後も、児童が友達とのふれあいを深め、助け合う心や工夫する力を育むことのできる季節の行事、講座等の開催を通じて、児童の健全育成に努めます。
	☒ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化	
	成果向上余地	
	☒ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ なし	
効率性	類似事業との再編成	類似事業はありません。
	☐ 再編成できる(理由→) ☐ 再編成できない(理由→) ☒ 類似事業なし	
	コスト削減余地	
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切	児童の健全育成を目的とした事業であり、児童の安全確保や老朽化施設の維持補修等を行うためには、現状手段が適切です。

改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など

秋穂コミュニティセンター指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、適切な広報、快適な施設としての維持管理、自主事業の実施、個人情報の保護の徹底など、適切に業務を実施しています。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：秋穂コミュニティセンター

指定管理者：社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間：令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設使用の申請受付及び許可に関する事務を適正に処理されている。			☆			3
		維持管理	・清掃、保守点検など維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	施設の清掃は、業者委託しており、施設敷地内の草刈りは適宜、職員が行う等、施設の維持管理を適正に行っている。備品についても適正に管理されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	児童厚生員の資格を有する職員を適切に配置している。また、職員に対する研修機会を確保し、人材育成に努めている。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	放課後児童クラブと連携し、講座を行うなど地域と連携した事業に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する説明は適切に行っている。また、事故や苦情等に対応できる体制を整えている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・利用者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童館ガイドラインや運営方針に基づいて運営しており、適切に対応している。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報は、外部の人の目に触れないように適切に管理しており、廃棄する際は破砕機を使用する等、適切に行っている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内で事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。また児童遊園の日頃の安全管理にも努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	機械警備の設置及び緊急連絡網の作成等により危機管理体制を整えている。			☆			3
利用者のサービスの向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な、広報活動、情報提供等がなされたか。	月1回秋穂コミュニティセンターだよりを作成し、利用者や関係団体に配布しているほか、市社協だよりやホームページを活用したり、地域情報誌に行事を掲載するなど、情報提供に積極的に取り組んでいる。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取り組みがなされたか	親子を対象にする利用者のニーズに沿った講座や児童向け各種クラブの実施、多世代間との交流等、行事の開催に積極的な取り組みがされている。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	花壇コンクールへの参加、小学生を対象とした製作・ダンス・ハイキングなどの実施に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	意見箱の設置や、講座後のアンケートにより適宜、利用者の意見要望を聴き管理運営に反映するよう努めている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合している。	計画に整合した事業内容、収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
評 点 合 計					標準		51	加算	2	53
審査結果		山口市秋穂コミュニティセンター指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、職員向けの研修を実施し、職員の育成に力を入れている点が評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A						
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

事務事業評価報告書

施設名：山口市小郡上郷児童館

担当部 こども未来部

担当課 こども未来課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・児童(18歳未満) ・地域住民		地域の子どもの居場所として地域に根ざした活動を行いました。 <開館日> 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日 <開館時間> 13:00～17:30 (土曜日のみ13:00～17:00) <内容> ・児童講座等の開催 ・各種遊びのクラブ開設 ・多世代交流事業の実施 ・母親クラブの活動の場の提供	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
児童が健全な遊びを通して情操が豊かになります。			
総合計画体系	政策	01 子育て・健康福祉	
	施策	01 子育て支援の充実と環境整備	
	基本事業	04 子どもたちの交流の場づくり	
事業開始背景等	全ての児童に健全な遊びを通してその健康を増進し、又は情操を豊かにする施設として設置しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☒ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
	有効性	成果状況	少子化に伴い対象者数は減少傾向にあるものの、対象者数に占める利用者数は横ばいとなっています。
		☐ 向上(最高状態維持含む) ☒ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化	
効率性	成果向上余地		類似事業との再編成
	☒ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ なし		
	☐ 再編成できる(理由→) ☐ 再編成できない(理由→) ☒ 類似事業なし		類似事業はありません。
	コスト削減余地		
☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切		児童の健全育成を目的とした事業であり、児童の安全確保や老朽化施設の維持補修等を行うためには、現状手段が適切です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
山口市小郡上郷児童館指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、適切な広報、快適な施設としての維持管理、自主事業の実施、個人情報の保護の徹底など、適切に業務を実施しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市小郡上郷児童館

指定管理者: 山口市小郡上郷児童館運営委員会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント					評価					評点
									不履行 多数 (1点)	一部不 履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設使用の申請受付及び許可に関する事務を適正に処理されている。							☆		3	
		維持管理	・清掃、保守点検など維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	日常業務における清掃業務のほか、ガラス清掃などの定期清掃、備品の管理を適正に実施されている。							☆		3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	児童厚生員の資格を有する職員を適切に配置している。また、職員に対する研修機会を確保し、人材育成に努めている。								☆	4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	学校や地域の関係団体との連携により行事等を積極的に実施されている。							☆		3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する説明は適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。							☆		3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。							☆		3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・利用者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用希望者には平等に利用機会が提供されている。							☆		3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	職員に対して利用者に関する個人情報保護については、周知徹底されている。							☆		3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内で事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努め、職員に対する安全対策の徹底もなされている。							☆		3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。							☆		3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な、広報活動、情報提供等がなされたか。	児童館だよりを作成し、利用者や関係団体に配布しているほか、地域の回覧や子ども会のメールなどを活用し、情報提供に積極的に取り組んでいる。								☆	4
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取り組みがなされたか	親子を対象にする利用者のニーズに沿った講座や地域の子ども会や母親クラブと連携した多世代交流会や出前講座等、行事の開催に積極的な取組みがされている。							☆		3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	パネルシアターの開催や点字体験、運動会・クリスマス会・もちつき会などの実施に取り組んでいる。。							☆		3
			改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者ニーズに沿った事業を展開する取組みの姿勢が伺える。							☆		3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合している。	計画に整合した事業内容、収支実績となっている。							☆		3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。							☆		3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。							☆		3	
評 点 合 計								標準		51	加算	2	53	
審査結果		山口市小郡上郷児童館指定管理者仕様書に基づき、利用者の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、職員向けの研修を実施し、職員の育成に力を入れている点が評価できる。						年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価			良好		
				A	A	A	A	A						
総 評			地域の子どもの居場所・遊び場として、仕様書を遵守した運営の下、地域の関係団体との連携を図りながら各種講座等を開催し、児童の健全育成が図られた。 また、職員の資質向上のため、研修等の機会を確保し、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

事務事業評価報告書

施設名：山口市放課後児童クラブ

担当部 こども未来部

担当課 こども未来課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
本市に住所を有し、就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校の第1学年から第6学年までの児童及びその保護者		市内59箇所(うち1箇所は人権推進課所管)で、専用施設、学校や児童館等の建物の一部利用、その他保育園内において放課後児童クラブを開設しました。運営は、指定管理者又は業務受託者が行いました。令和6年4月1日時点の定員は、前年度の施設整備により39人増加し、2,852人となりました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
放課後、留守家庭児童となる小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。 留守家庭児童の保護者が安心して就労することができます。			
総合計画体系	政策	01 子育て・健康福祉	
	施策	01 子育て支援の充実と環境整備	
	基本事業	03 幼児教育・保育の充実	
事業開始背景等	近年の共働き家庭の増加に伴い、留守家庭児童の余暇における保護・育成に資するため、地域住民の積極的な協力を得て、放課後児童クラブの開設及び育成を行う。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☒ 貢献度大 ☐ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
	有効性	成果状況	施設整備や民間施設の活用による定員拡大により、待機児童数が減少しましたが、近年の申込数の増加により、依然として待機児童が発生しています。 「山口市こども計画」に基づき、引き続き、計画的に定員拡大を進め、待機児童の解消を図ります。
		☐ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☒ 低下・悪化	
		成果向上余地	
☒ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ なし			
効率性	類似事業との再編成		放課後、留守家庭児童となる小学生を対象に、年間を通じて利用希望に対応できるものは放課後児童クラブのみであり、再編はできません。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし		
	コスト削減余地		運営費については、国の基準に基づいた単価で算出しており、コスト削減の余地はありません。
☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施しています。 また、待機児童減少に向け、設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れに出来る限り対応しました。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:わかくさ学級

指定管理者:わかくさ学級運営協議会

指定期間:令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・日常的な清掃や定期的な清掃など、施設の維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A				
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:わかくさ第2学級

指定管理者:わかくさ学級運営協議会

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好	
				A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: なかよし学級

指定管理者: 白石地区放課後児童クラブ運営協議会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: なかよし第2学級

指定管理者: 白石地区放課後児童クラブ運営協議会

指定期間: 令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: やまびこ学級

指定管理者: やまびこ学級運営協議会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、なつまつり・湯田ふるさとまつり模擬店参加・クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A	A			
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:やまびこ第2学級

指定管理者:やまびこ学級運営協議会

指定期間:令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、なつまつり・湯田ふるさとまつり模擬店参加・クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準	54		加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価		A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:やまびこ第3学級

指定管理者:やまびこ学級運営協議会

指定期間:令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、なつまつり・湯田ふるさとまつり模擬店参加・クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4
評 点 合 計					標準	54		加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A						
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:くすのき学級

指定管理者:仁保地区放課後児童クラブ運営協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評					総合評価						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：しょうだ学級

指定管理者：しょうだ学級運営委員会

指定期間：令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
改善運動			・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
				A	A	A	A				
総 評					総合評価						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:うえき学級 指定管理者:大内地区社会福祉協議会 指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目			評価コメント	評価					評点		
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
		経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆		
	安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
	経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
	その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4
	評 点 合 計				標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価		A				
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
			A	A	A	A					
総 評					総合評価						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:うえき第2学級

指定管理者:大内地区社会福祉協議会

指定期間:令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A					
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：うえき第3学級

指定管理者：大内地区社会福祉協議会

指定期間：令和5年度～令和9年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつを提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
			安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
			経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A						
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:みなみ学級

指定管理者:大内地区社会福祉協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:みなみ第2学級

指定管理者:大内地区社会福祉協議会

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目			評価コメント	評価					評点		
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好		
			A	A	A	A	A				
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:みなみ第3学級

指定管理者:大内地区社会福祉協議会

指定期間:令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、夏季休業中のお楽しみイベントやクリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A					
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:すずみ学級

指定管理者:すずみ学級運営協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
			安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
			経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準	54		加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価		A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:すずみ第2学級

指定管理者:すずみ学級運営協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目			評価コメント	評価					評点
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取組	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)			☆			3
評 点 合 計				標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A	
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
			A	A	A	A			
総 評									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:もみじ学級

指定管理者:吉敷地区社会福祉協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A	A			
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:もみじ第2学級

指定管理者:吉敷地区社会福祉協議会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目			評価コメント	評価					評点
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆		3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆		3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆	4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆		3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆		3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆		3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆		3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆		3
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆		3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆		3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆		3
	利用者の取組み・向上への取り組み	利用拡大	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆		3
		自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆		3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆		3
	経営状況	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆		3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆		3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆		3
	その他	市の施策への貢献	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆	4
評 点 合 計				標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。		年度評価			A		
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
			A	A	A	A			
総 評									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:もみじ第3学級

指定管理者:吉敷地区社会福祉協議会

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への支援	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好	
				A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。			総合評価			良好			

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

指定期間:令和3年度～令和7年度

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: ひめやま第2学級

指定管理者: ひめやま学級運営協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、夏季休業中はクラブ活動やバスポートを取り入れた遊びの指導に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
				A	A	A	A	A			
総 評			放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。			総合評価			良好		

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:ひめやま第3学級

指定管理者:ひめやま学級運営協議会

指定期間:令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、夏季休業中はクラブ活動やバレーボールを取り入れた遊びの指導に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評					総合評価						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:さわやか学級 指定管理者:大蔵地区放課後児童クラブ運営協議会 指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。(2割以上)				☆		5	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: さわやか第2学級

指定管理者: 大蔵地区放課後児童クラブ運営協議会

指定期間: 令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。(2割以上)				☆		5	
評 点 合 計					標準	54		加算	4	58	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:わくわく学級

指定管理者: 鯖鏡司留守家庭児童学級運営協議会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評価点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、樽太鼓に取り組み、地域の行事等で演奏している。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。(2割以上)					☆	5	
評価点合計					標準	54		加算	4	58	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	総合評価	
				A	A	A	A				
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:にこにこ学級

指定管理者:名田島放課後児童クラブ運営協議会

指定期間:令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、樽太鼓に取り組み、地域の行事等で演奏している。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A				
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:たんぼぼ学級

指定管理者:二島留守家庭児童学級運営委員会

指定期間:令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A	A			
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: おおぞら学級

指定管理者: おおぞら学級運営協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目			評価コメント	評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取組みの向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、土曜日や長期休業等に8時前から受け入れを開始する独自の取組みを行っている。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A	A	A	A	A		
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。								

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: はばたき学級

指定管理者: 特定非営利活動法人あい・ねっと佐山

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A	A			
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: ひまわり学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評価点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評価点合計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A	A	A	A	A		
総評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。			総合評価			良好		

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: ひまわり第2学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目			評価コメント	評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆		3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆		3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆	4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆		3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆		3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆		3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆		3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。				☆	4	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆		3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆		3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆		3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆		3	
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆		3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆		3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆		3
			安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆		3
			経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆		3
	その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆		3
評 点 合 計				標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好	
			A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。								

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: ひまわり第3学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評価点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評価点合計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A	A	A	A	A		
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。								

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: はちのこ学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目			評価コメント	評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
	利用者の取り組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)			☆			3	
評 点 合 計				標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
			A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書を遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。			総合評価			良好		

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: はちのこ第2学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。また、不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、関係機関と連携して対応している。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A	A	A	A			
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: はちのこ第3学級

指定管理者: 社会福祉法人向学会

指定期間: 令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
			障がいや配慮の必要がある子への対応 ・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:しらすぎ学級

指定管理者:社会福祉法人青藍会

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好	
				A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:しらすぎ第2学級

指定管理者:特定非営利活動法人やまぐちレーテ子育てBambini

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、市へ報告し適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
			障がいや配慮の必要がある子への対応 ・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルの作成に取り組んでいる。			☆			3	
	利用者の取組み・向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。あそびの環境の中に体験学習や探求型学習を取り入れている。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。(2割以上)				☆		5	
評 点 合 計					標準		54	加算	4	58	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好	
				A	A	A	A	A			
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:しらすぎ第3学級

指定管理者:社会福祉法人青藍会

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保し、学級内においても研修を実施している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。			☆			3
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に対し、通退級システムを活用したデータでの情報提供に取り組んでいる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
		改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4
評 点 合 計					標準		54	加算	2	56
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A	A	A	A	A		
総 評		放課後児童クラブに対するニーズが多様化する中、市が示した仕様書遵守した運営が行われ、放課後児童の健全育成が図られた。また、支援員の資質向上のため、研修会等への積極的な参加に努め、児童の安心・安全に配慮するなど、指定管理者として良好な運営が行われた。								

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 大海なかよし学級

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れられる体制を整えている。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A					
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: おひさまクラブ2

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和5年度～令和9年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、ケガ等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通達級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。				☆		4	
評 点 合 計					標準		54	加算	3	57	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A						
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:徳佐児童クラブ

指定管理者:社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間:令和4年度～令和8年度

評価項目				評価コメント	評価					評点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進捗されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3	
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、苦情等発生した場合には、保護者及び市への迅速な連絡など適切な対応が行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3	
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。			☆			3	
		個人情報保護	・個人情報を保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3	
	利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	おやつ提供のほか、クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、虫取りや魚すくいなど自然の中での遊びを取り入れている。			☆			3
			改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3
	経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
安定経営			・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3	
経営状況			・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3	
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	定員内での受け入れを行った。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A					
総 評											

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:秋穂児童にこにこ学級

指定管理者:社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間:令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評点
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、日常的な清掃など、適正な施設の運営が行われたか。	入級事務や退級等に係る手続きについて適正に処理が行われ、遅滞なく進達されている。また、日常的に清掃を行うなど適正な施設運営が実施されている。			☆			3
		維持管理	・定期的な清掃や保守点検など維持管理が適正に行われたか。	ガラス清掃などの定期清掃、電気設備等の保守点検を適正に実施されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成、指導が行われたか。	山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、入級児童数に応じた支援員の配置が行われている。また、職員の研修機会を確保している。				☆		4
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協議が適切に行われていたか。	下校時間の変更など連絡調整のほか、入級児童に関し学校との連携など適切に行われている。また、地域や学校、関係団体が主催する行事イベントへの参加・協力に取り組んでいる。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する案内、説明を適切に行っている。また、重大な事故や苦情なく、運営を行っている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法を遵守し適正な労務体制が整っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・入級希望者の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	児童クラブの入級については、公平な利用ができるよう審査会を開催し、市が示している入級基準に基づき入級審査が適正に実施されている。			☆			3
		障がいや配慮の必要がある子への対応	・障がいのある子ども等に対する対応が適切であったか。 ・不適切な養育や児童虐待が疑われる場合、適切に対応しているか。	障がいのある子どもを複数名受け入れ、その子どもの特性を踏まえた保育に努めている。				☆		4
		個人情報保護	・個人情報保護するための対策が適切であったか。	支援員等に対し、入級者に関する個人情報保護を周知徹底されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内でケガ等事故が発生しそうな箇所の点検等を行い、事故の未然防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	市が設置した緊急通報装置を使用し、緊急時の対策や防犯対策の体制を整えている。また、危機管理マニュアルを作成し有事の際の体制が整っている。			☆			3
利用者の取組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため効果的な広報活動、情報提供等がなされたか。	学級だよりを作成し、保護者等に配布し情報の提供に取り組んでいる。			☆			3
利用者満足度	自主事業	・入級者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	クリスマス会等年間を通じて各種行事に取り組んでいる。また、食育活動として畑作り等も行っている。			☆			3	
	改善運動	・入級者の意見要望を聴き、管理運営に反映されたか。	保護者からの要望や意見の聞き取りを行い、可能な限り要望や意見の反映に努めている。通退級システムを活用し、保護者に対し速やかな情報提供を行っている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	入級児童の状況に沿った収支実績となっている。			☆			3
		安定経営	・安定的な運営はできているか。	計画的な予算の執行がされており運営は安定している。			☆			3
		経営状況	・経理事務は適正に処理されたか。	適正に処理が行われている。			☆			3
その他	市の施策への貢献	待機児童対策	・待機児童減少に向けた受入に努めているか。 (設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行ったか。)	設備の基準上可能な範囲で定員を超える受入れを行っている。(2割以上)				☆		5
評 点 合 計					標準		54	加算	4	58
審査結果		山口市放課後児童クラブ指定管理者仕様書に基づき、入級児童の安全確保、施設の効果的・弾力的な運営、快適な施設としての維持管理、個人情報保護の徹底など、適切に業務を実施している。 また、定員を上回る受入れにより待機児童対策に貢献した点も評価できる。			年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
				A						
総 評										

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。